

危険有害業務に係る業界ヒアリング概要

業 種 ヒアリング日	概 要
製造業 (鉄鋼業) (16.9.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄鋼業の現場製造ラインには女性はほとんどいない（敬遠されている模様）。検査作業や工程管理（システム処理）に女性がいることは多少あり。なお、検査作業工程で重量物を持ち上げることがある。 ○重量物取扱業務 ・重量物取扱業務に関しては、最も早く機械化が進んでおり、今は人力で行う分野ではない（コスト面及び現実的にも困難）。部品をつくる場合等、出荷工程ではありうるが、いずれも重量は通常20kg前後。製品については、大半がトン単位なので、人力で行うことはない。 ○有害物取扱業務 ・有害物取扱業務に関しても、機械化が進み、人が関わることは少なくなってきている。
サービス業 (運送業) (16.9.9)	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道輸送 ・荷上げ・荷下ろしについては、フォークリフト（機械）作業、人力作業ともにある。 ・人力作業の荷物は1個当たり通常1kg程度。重くても30kg程度までの段ボールの積み込み等。 ・現状では女性の就業はない。 ○集配 ・女性ドライバーによる配送あり。女性の応募も増えている。 ・1個当たりの小包の重量は通常30kg未満で、30kgを超えると（例：建材、ドラム缶等）荷上げ・荷下ろしは機械作業となる。 ・一人当たり1日の小包配送数は約100個。そのうち1件当たりの荷下ろし等の作業時間は2～3分程度で、実際に小包を持っている時間はそれよりも短い。 ○引越 ・女性スタッフの従事が多い。 ・作業に関しては、目安としては一人当たり1回で運ぶ荷物の重量は30kg未満。 ○倉庫内作業 ・荷分け作業への女性スタッフの従事が多い。 ・作業に関しては、目安としては1回で運ぶ荷物の重量は30kg未満と推察。積み重ねた段ボールの移動は機械作業。 ・機械化を進めている。
建設業 (16.8.13)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦等の就業制限とされている作業には、現実には女性全般が就いていない。 ○土木関係 ・最近では機械作業が中心で、人力作業は減少。特殊業務のみ残っているが、継続的な重量作業は滅多にない。特殊業務としては石積作業があるが、持ち上げることはほとんどなく、並べる作業がほとんど。人力で持ち上げる石の重量は20～30kgといったところ。 ○建築関係 ・土木関係よりも人力作業は多いが、継続的な重量作業はほとんど行わない。 ・重量物の移動は車輜や機械を使用するが、積み卸しは人力で行っている。